



通信 Vol.44

【なぜか伝わる“本気”言葉を超える「応援の空気」の作り方】

「本番で頭が真っ白に…」

「プレッシャーで、いつも通りの力が出せなかった…」

あなたにも、そんな悔しい経験はありませんか？

大事な場面で誰かからの応援が力になる一方、口先だけの励ましに余計に孤独を感じることもあります。同じ「応援」なのに、なぜ受け取り方が違うのでしょうか。今回は、あなたの応援を相手の本当の力に変える秘訣についてお話しします。

相手を勇気づける言葉がけを「ペップトーク」と言います。「君なら大丈夫！」といった言葉で、相手の背中を押し、最高のパフォーマンスを引き出すスキルです。しかし、もし言葉とは裏腹に、心のどこかで「どうせ無理だろう」と思っていたら、どうでしょう？人は言葉以上に、その表情や声色から本心を感じ取ります。心が伴わない言葉は「信じてもらえていない」と伝わり、逆効果にさえなるのです。言葉のテクニックだけでは、人の心は動きません。

だからこそ、何よりも大切なのが『応援マインド』です。これは、相手の成功を心の底から信じ、その挑戦自体を尊重する心構えのこと。この「本気の想い」は、あなたの佇まいやその場の「空気」そのものを変え、相手に伝わります。たとえ言葉はなくても、心からの信頼は、相手に安心感を与え、最高の力を引き出すエネルギーとなるのです。

私は社長として、個別の声がけ以上に「会社全体の空気づくり」を大切にしてきました。誰かが挑戦する時、周りの仲間が自然と「君ならできる！」と応援し合える。そんな文化です。チーム全体が「挑戦を歓迎する空気」になれば、人は安心して実力を発揮でき、組織は個人の力の総和を超えて強くなります。この「応援の文化」こそが、最高のチームを創るのです。

もし、あなたが誰かの力になりたいと願うなら、上手な言葉を探す前に、まずあなたの心に『応援マインド』の火を灯してください。一番身近な人の頑張りを見つけ、心からの「いいね！」を送ってみる。その小さな一歩が、あなたの周りを温かいエネルギーで満たし、やがて大きな力となって、あなた自身にも返ってくるはずです。

「いいな」と思ったら、行動してみましょう。

行動することで未来が変わります。